

2016年度目標設定にあたっての考え方

「2014年度以降の環境目標」(P23)のうち、2016年度を達成目標として、新しく設定した目標についての考え方を下記に記載しております。

[2016年度目標] 単位輸送量あたり列車運転用電力量 新幹線・在来線それぞれ5.9%削減(2010年度比)

新幹線:2.71→2.55(kWh/車キロ)

在来線:1.65→1.55(kWh/車キロ)

当社の消費エネルギーの約80%は、列車運転用エネルギーにより占められています。その大部分が電車の運転に必要な電力であり、省エネルギーを進めていくためには、これを着実に減らしていくことが重要です。2013年度目標では、新幹線と在来線とを一括して管理していましたが、2014年度末の北陸新幹線の開業を見据えて、2016年度目標では新幹線と在来線を分離して管理することとし、各々省エネ法の考え方に基づいて年1%削減目標で数値設定しています(年1%の6乗)。

[2016年度目標] 支社等における単位床面積あたりエネルギー使用量15%削減(2010年度比) 0.0467→0.0397(kL(原油換算)/m²)

列車運転用エネルギーを削減する一方で、支社等の建物における省エネルギーも進める必要があります。これまで、高効率機器の導入や震災後の節電の取り組みを実施した結果、2012年度で12%削減を達成しました。今回設定した目標は、今後の設備省エネ化計画、現在の節電の取り組みを継続することを前提として、省エネ法の考え方に基づいて年1%の上積みをめざしていくものです。

[2016年度目標] エコステモデル駅の整備 累計8箇所

2014年3月現在、当社管内には3つのエコステモデル駅が整備されています(四ツ谷駅、平泉駅、海浜幕張駅)。今後も、調査・設計等を着実に実施することにより、さらに5箇所の整備をめざします。

[2016年度目標] ホーム照明のLED化(2014~16年度内)60駅に50%以上の導入

ホーム照明の取替時期が上下ホームで異なる場合を想定し、50%以上を基準とします。今後も取替を着実に実施することにより、さらに60駅について50%以上のLED化をめざします。

[2016年度目標] 大型空調設備の高効率化(2014~16年度内)5箇所

大型空調設備の高効率化は、省エネ効果が大きいため、今後も調査・設計等を着実に実施するとともに、5箇所の高効率化をめざします。

[2016年度目標] グループ会社各社が設定するエネルギー使用量原単位の削減率 グループ全社で年平均1%

省エネ法に則り、年平均1%削減(2014~2016年度)を目標として取り組みます。原単位は、各グループ会社において、省エネ法で既に設定している原単位等エネルギー使用量と密接に関連する指標を設定することとします。

[2016年度目標] 各廃棄物のリサイクル率

各廃棄物のリサイクル率については、2013年度目標のリサイクル率を達成したことを踏まえて、数値目標を下げることなく、チャレンジングな目標を設定し引き続き循環型社会の実現に向けて3Rの取り組みを推進していくこととしました。

[2016年度目標] グループ会社におけるリサイクル実施率100%

各社が排出する一般廃棄物及び産業廃棄物のいずれにおいても、何らかのリサイクルを実施したことを以て達成とする目標です。2016年度までに100%達成をめざします。

[2016年度目標] グループ会社全社が具体的な数値目標を設定

すべてのグループ会社が、それぞれの事業特性に応じて自主的な環境目標を設定し、取り組んでいくことを目標としています。